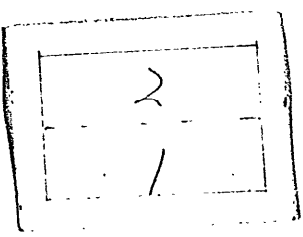

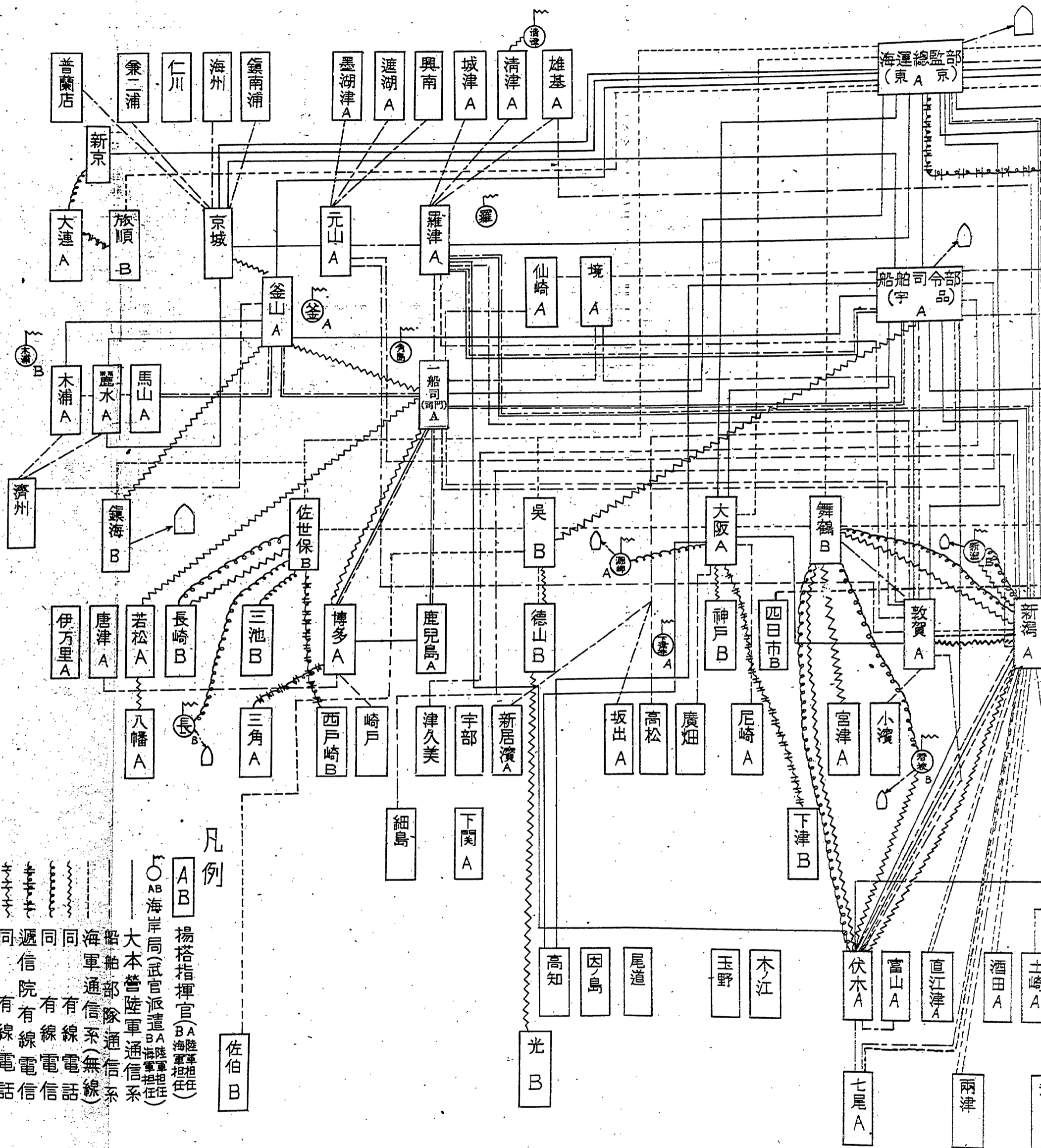
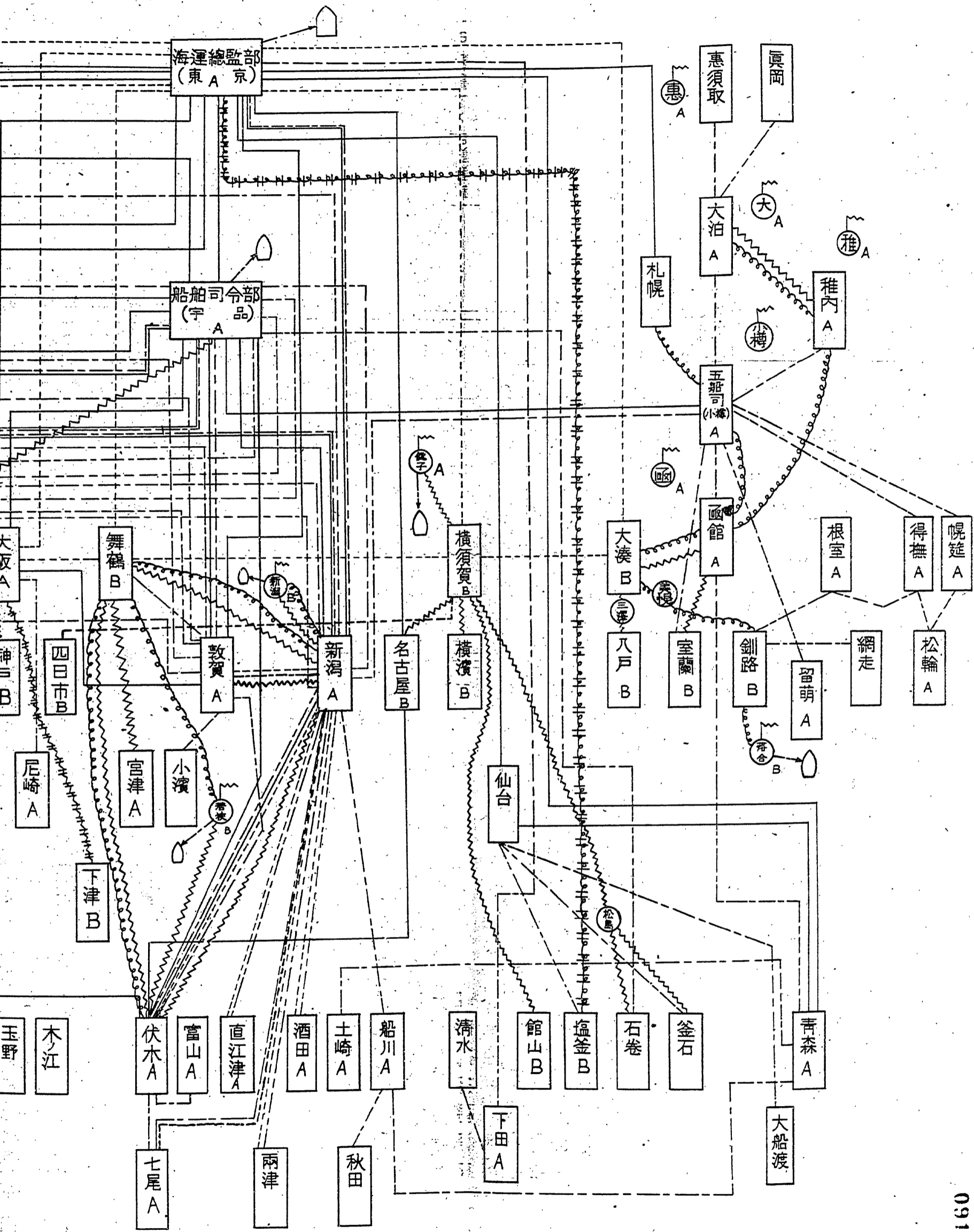


分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>4 年 6 月 22 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	



別表第四



195 年 11 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 148 年 12 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 149 年 1 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 150 年 2 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 151 年 3 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 152 年 4 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 153 年 5 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 154 年 6 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 155 年 7 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 156 年 8 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 157 年 9 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 158 年 10 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 159 年 11 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書
 160 年 12 月 1 日 現在 日本郵船株式会社 船隻 運航 状況 調査 結果 報告 書

0911

(附錄第一)

國家船舶及港灣一元運營實施ニ關スル件

昭和二〇、四、二七
閣議 決定

政府ハ統帥部ト協力シ別冊國家船舶及港灣一元運營實施要綱ニ基キ船舶及港灣一元運營ヲ實施ス
之ヲ爲差シ當リ左記ノ通り措置ス

左記

一、國家船舶ノ運營ニ關スル運輸通信大臣ノ所掌事項中海上輸送計畫及配船ノ實施ニ關スル事項ハ陸軍大臣及海軍大臣ヲシテ
行ハシムル如クス

二、陸軍大臣及海軍大臣ハ前號ノ配船實施ニ關シ海運局長及鐵道局長ヲ又港灣ノ短切揚搭實施ニ關シ必要アルトキハ海運局長
鐵道局長及地方長官ヲ指揮スルコトヲ得シム

三、陸軍大臣及海軍大臣ハ所要ニ應シ前二號ノ職權ヲ陸海軍官憲ヲシテ行ハシムルコトヲ得シム

四、港灣揚搭力ノ綜合能率發揮ノ爲港灣現場行政ヲ地方行政協議會長及必要ニ應シ地方行政協議會長ノ指揮下ニ各地方長官ヲ
シテ一元的ニ指揮セシムル如ク措置ス

五、國家船舶及港灣ノ一元運營實施ニ當リテハ努メテ現在ノ機構ヲ活用シ且軍官民夫々其ノ特性ヲ發揮スル如ク措置スルモノ
トス

六、外地ニ就キテモ前各號ニ準シ措置ス

(備考)

國家船舶トハ差シ當リ總噸數百噸以上ノ汽船トス

(附錄第二)

告 示

戰時行政職權特例第二條及第三條ノ規定ニ依ル國家船舶及港灣一元運營實施ニ關シ左ノ通り定ム

昭和二十年五月一日

内閣總理大臣

第一條 國家船舶(總噸數百噸以上ノ汽船ニシテ陸軍大臣、海軍大臣及運輸通信大臣ノ協議ニ依リ定ムルモノヲ謂フ)ノ運營

ニ關スル運輸通信大臣ノ職權ノ中海上輸送計畫及配船實施ニ關スル職權ハ之ヲ陸軍大臣及海軍大臣ヲシテ行ハシム

第二條 陸軍大臣及海軍大臣ハ前條ノ配船實施ニ關シ海運局長及鐵道局長ヲ指揮ス

陸軍大臣及海軍大臣ハ港灣ニ於ケル短切揚搭實施ニ關シ必要アルトキハ海運局長鐵道局長及都廳府縣長官ヲ指揮スルコト

ヲ得

第三條 陸軍大臣及海軍大臣ハ必要アル時ハ前二條ノ職權ヲ陸海軍官憲ヲシテ行ハシムルコトヲ得

第四條 港灣ニ於ケル揚搭力ノ綜合能率發揮ノ爲メ地方行政協議會ヲ附置セラレタル都廳府縣ノ長官ハ港灣ニ於ケル行政ニ付地

方行政協議會令第四條ニ規定スル官衙ノ長(都廳府縣長官ヲ除ク)ニ對シ必要ニ應シ關係廳府縣長官ヲシテ戰時行政職權特

例第六條ノ規定ニ依リ有スル指揮權ヲ行使セシムルコトヲ得

第五條 朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ在リテハ第一條中運輸通信大臣トアルハ各朝鮮總督、臺灣總督、又ハ滿洲駐劄特命全權大使

トシ第二條第一項中海運局長及鐵道局長トアルハ各朝鮮總督府交通局長、臺灣總督府交通局長又ハ關東海務局長トシ同條

第二項中海運局長、鐵道局長及都廳府縣ノ長官トアルハ各朝鮮交通局長及道知事、臺灣總督府交通局長及州知事若クハ

廳長又ハ關東海務局長及關東州長官トス

(附錄第三)

國家船舶及港灣二元運營實施ニ關スル職權委任ノ件通牒

昭和二十年五月二日

參 謀 次 長 殿

陸 軍 次 官
海 軍 次 官

昭和二十年五月一日内閣告示第八號實施ノタメ左記ノ通定メラレタルニ付通牒ス

左 記

内閣告示第八號第一條及第二條ニ依ル陸軍大臣及海軍大臣ノ職權ハ第三條ノ規定ニ依リ左ノ通委任ス

一、國家船舶運營ニ關スル事項中

海上輸送計畫ノ策定及主トシテ配船(調整ヲ含ム)ニ關スル事項

主トシテ現場配船(調整ヲ含ム)ニ關スル事項

二、國家船舶ノ現場配船實施並ニ港灣ニ於ケル短切揚搭實施ニ關シ

- | | |
|---------------|---------------|
| 海 運 局 長 | 海 運 總 監 |
| 鐵 道 局 長 | 船 舶 司 令 官 |
| 朝鮮總督府 交通局長 | 關 東 軍 總 司 令 官 |
| 臺灣總督府 交通局長 | 軍 管 區 司 令 官 |
| 關東海務局長ニ對スル指揮權 | 鎮 守 府 司 令 長 官 |
| | 警 備 府 司 令 長 官 |

5160

都廳府縣ノ長官
朝鮮各道知事
臺灣各州知事若クハ廳長
關東州長官ニ對スル指揮權

關東軍總司令官
軍管區司令官
鎮守府司令長官
警備府司令長官

四

(附錄第四)

船舶及港灣一元運營ニ關スル件中揚搭指揮官ニ關スル中央協定

昭和二十年五月十四日

陸軍大臣	阿南惟幾
海軍大臣	米内光政
參謀總長	梅津美治郎
軍令部總長	及川古志郎

一、揚搭指揮官ハ軍管區司令官又ハ鎮守府(警備府)司令長官ノ區處ヲ承ケ左ノ業務ヲ實施スルモノトス

1 揚搭實施ノ爲所在港灣地區ニ於ケル關係軍官民作業力ノ運用

2 揚搭作業ニ膺接スル陸上輸送關係諸業務トノ節調

(註)

揚搭指揮官ハ船舶司令官ノ指揮下ニ在ルモノトス

二、揚搭指揮官ハ揚搭作業ノ爲所要ニ應シ所在港灣地區ニ在ル陸海軍輸送關係部隊ヲ統一指揮スルモノトス
又右目的ノ爲關係官機關ノ所要人員ヲ指揮シ之ヲ通シテ關係官民機關ヲ活用ス

三、揚搭指揮官常置陸海軍擔任區分表別紙ノ如シ

四、常置スル揚搭指揮官ハ夫々擔任ニ應シ港灣所在船舶輸送關係最高指揮官ヲ以テ充ツルモノトス

但シ軍管區司令官又ハ鎮守府(警備府)司令長官ノ部署ヲ以テ特ニ短切揚搭ヲ實施スル場合ニ在リテハ臨機之ヲ定ムルモノトス

(別紙)

揚搭指揮官常置擔任區分表

備考	伏木	直江津	新潟	酒田	士崎	船川	青森	函館	塩釜	八戸	大湊	室蘭	小樽	留萌	稚内	釧路	根室	大泊	港灣	陸海軍別
	"	"	"	"	"	"	"	A	"	"	"	B	"	"	A	B	"	A		
	坂出	尾崎	神戸	大坂	四日市	名古屋	芝浦	横濱	横須賀	下田	館山	境	宮津	舞鶴	新舞鶴	敦賀	七尾	富山	港灣	陸海軍別
	"	A	B	A	"	B	A	"	B	A	B	"	A	"	B	"	"	A		
	佐伯	鹿兒島	長崎	佐世保	伊万里	唐津	西戸崎	博多	門司	若松	八幡	下関	仙崎	徳光	宇品	新居	濱	港灣	陸海軍別	
	B	A	"	B	"	A	B	"	"	"	"	A	"	B	"	A				
		旅順	大連	雄基	羅津	清津	城津	墨湖	遮湖	元山	木浦	麗水	馬山	鎮海	釜山	三池	三角	港灣	陸海軍別	
		B	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	A	B	A	B	A			

一、神戸、尾崎ノ揚搭指揮官ハ大阪ノ揚搭指揮官
 一、芝浦ノ揚搭指揮官ハ横濱ノ揚搭指揮官
 必要ニ應シ之ヲ統一指揮ス

(附録第五)

軍務一機密第一〇九一號

昭和十九年十一月十七日

海軍省軍務局長

海軍省兵備局長殿

海軍省人事局長殿

海軍省教育局長殿

海軍省軍需局長殿

海軍艦政本部長殿

海軍運輸本部長殿

商船(徴備船、配當船、C船全部ヲ含ム)ノ兵裝標準及警戒隊員配乗標準ニ關スル件申進

首題ノ件當分ノ間別紙ノ通施行ノコトニ定メラレ候條可然取計相成度

追テ之カ實施ハ兵器、人員、居住施設等ヲ勘案シ逐次實施ノコトト相成ル可キモ現下ノ燃料需求ノ要望ニ鑑ミ油槽船優先ト

承知アリ度

(別紙寫添)

軍令部第一部長

寫送付先 海上護衛參謀長

船舶警戒部長

一、油槽船

海軍徴備船 (B 配當ヲ含ム) 兵裝標準案

電波探知機	探偵儀	水中聴音機	爆雷	探照燈	防空	八極迫撃砲	機銃	高角砲	兵裝標準		任務区分	
									噸數	區分		
⊖	⊖	⊖	爆雷 一六	投下軌道 一上	四〇 以	追テ定ム	四一 以	一〇 以	噸以上	五千總	最前線進出ノモノ (E)	
⊖	⊖	⊖	同	上		二一 以	一〇 以	噸以上	三千總	一般 (F)		
		⊖	爆雷 一〇	投下軌道 二上		四一 以	一〇 以	噸以上	噸以上			記 事
			同	投下軌道 二上		四一 以	一〇 以	噸以上	噸以上			
⊖	⊖	⊖	爆雷 一〇	投下軌道 一上	四〇 以		一〇 以	噸以上	五千總		一	
⊖	⊖	⊖	同	上		一三 以	一〇 以	噸以上	噸以上			
		⊖	爆雷 一〇	投下軌道 二上		一三 以	一〇 以	噸以上	噸以上	ルノ コト ヲ得		
			同	投下軌道 二上		一三 以	一〇 以	噸以上	噸以上			

考 備	彈定		信號	時報	上空	連繫	方向	艦尾	測距		鏡	眼	電波
	機銃	砲							一	五			
一、〇印ハ裝備ノ緩急順序ヲ示ス 二、A配當船ハ本標準ヲ適用ス 三、無線通信兵器ハ保護指示標準ニ依ルノ外三千總噸以上(2 T Mヲ含ム)ニ對シテハ超短波無線電話機一組ヲ増備ス 四、艦隊附屬、一貫輸送、集積輸送等ニ従事スルモノ(豫定ヲ含ム)ハ(E)標準ヲ適用ス	キ	門	銃	置	燈	燈	燈	燈	一	一	七	八	追テ定ム
	八〇〇	五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	八	四	追テ定ム
	八〇〇	五〇	一	一	+	一	一	一	一	一	六	四	追テ定ム
	八〇〇	五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	四	三	追テ定ム
	八〇〇	五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	四	二	追テ定ム
	八〇〇	五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	八	四	追テ定ム
	六〇〇	三〇	一	一	一	一	一	一	一	一	六	四	追テ定ム
	六〇〇	三〇	一	一	一	一	一	一	一	一	四	二	追テ定ム
	六〇〇	三〇	一	一	一	一	一	一	一	一	四	二	追テ定ム
	六〇〇	三〇	一	一	一	一	一	一	一	一	四	二	追テ定ム

輕便測距儀ヲ以テ
代用スルコトヲ得

二、貨物船及貨客船

備	電波探信儀	電波探知器	探信儀	水中聽音器	爆雷	探照燈	防空風	八種迫撃砲	機銃	高角砲	兵裝標準		記事			
											噸	分				
一、其ノ他ノ標準ハ油槽船ニ準ス 二、特別ノモノヲ除キ(F)標準ヲ適用ス	追テ定ム	○	○	○	投下軌道 爆雷一六二		追テ定ム	四以上	○ 二五 八以上	一 二種 以上	噸以上	五千總	最前線進出ノモノ(E) 一 般(F)			
		一	一	一	同上					○ 二五 六以上	一 二種 以上	噸以上		三千總		
					○	投下軌道 爆雷一〇二					○ 二五 三以上	八種 以上		噸以上	一千總	
						同上				二	○ 二五 三以上			噸未滿	一千總	
		○	○	○	投下軌道 爆雷一六二						○ 二五 三以上	一 二種 以上		噸以上	五千總	
		一	一	一	同上						○ 二五 三以上	一 二種 以上		噸以上	三千總	
					○	投下軌道 爆雷一〇二					○ 二五 三以上	八種 以上		噸以上	一千總	
						同上				二	○ 一三 二耗			噸未滿	一千總	
						時機ヲ得次第防弾 装置ヲ行フモノト										
														狀況ニ依リ同口径 ノ水砲ヲ得		

探信儀	水中聴音機	爆雷	探照燈	防空扇	八種迫撃砲	機銃	高角砲	兵器標準分	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸
一	一	投下軌道 爆雷一六二		追ア定ム		一三五耗 四	一三五耗 四	噸以上	五 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
一	一	同上				一三五耗 二	一三五耗 二	噸以上	三 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
		投下軌道 爆雷一〇二				二三耗 一	二三耗 一	噸以上	一 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
		同上				二三耗 二	二三耗 二	噸以上	一 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
⊖	⊖	投下軌道 爆雷一六二				⊖ 一三五耗 四	⊖ 一三五耗 四	噸以上	五 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
⊖	⊖	同上				⊖ 一三五耗 四	⊖ 一三五耗 四	噸以上	三 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
	⊖	投下軌道 爆雷一〇二				⊖ 二三耗 二	⊖ 二三耗 二	噸以上	一 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
		同上				⊖ 一三耗 一	⊖ 一三耗 一	噸以上	一 千 總	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上	噸以上
		時機ヲ得次第防弾 装置ヲ行フモノトス																

〇 船兵装標準

考
 三、無線通信装置ハ船舶保護指示ノ標準ニ依ル
 四、護衛ヲ兼ネシムル小型船(概ネ三千總噸未滿)ニ對シテハ二五耗一三耗機銃二一四爆雷一〇以上ヲ増備シ要スレハ電波探信儀同探知器、探信儀各一ヲ裝備ス

考 備	彈藥定數		信號拳銃	時報裝置	上空燈	連繫信號燈	方向信號燈	船尾信號燈	距離概測鏡	測距儀	鏡		電波探信儀	電波探知器
	機銃	砲									七倍鏡	八種以上		
一、○印ハ裝備ノ緩急順序ヲ示ス 二、方面別ノ緩急順序 三、無線通信裝置ハ船舶保護指示ノ標準ニ依ル 四、護衛ヲ兼ネシムル小型船(概ネ三千噸未満)ニ對シテハ二五耗一三耗機銃二一四、爆雷一〇以上ヲ 増備シ要スレハ電波探信儀、同探知器、探信儀各一ヲ裝備ス	八〇〇	五〇	—	—	—	—	—	—	—	一、五米以下	八以上	二以上	追テ定ム	—
	六〇〇	三〇	—	—	—	—	—	—	—	一、〇米以下	六以上	二以上	—	—
	六〇〇	三〇	—	—	—	—	—	—	—	同	五以上	—	—	—
	六〇〇	三〇	—	—	—	—	—	—	—	上	四以上	一以上	—	—
	八〇〇	五〇	—	—	—	—	—	—	—	一、五米以下	八以上	二以上	—	⊖
	六〇〇	三〇	—	—	—	—	—	—	—	一、〇米以下	六以上	二以上	—	⊖
	六〇〇	三〇	—	—	—	—	—	—	—	同	五以上	二	—	—
	六〇〇	三〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四以上	一以上	—

一、油槽船

海軍徴備船（B配當船ヲ含ム）警戒隊員配乗標準

種別	任務区分	指揮官	高角砲	短二十種	短十二種	其ノ他	機銃員				八種迫撃砲員	防空員	爆雷員	水中聽音機員	探偵員	電波探知機員	電波探偵機員	測距員	見張員	偵號員	應急員	看護員	主計科員	計	最前線進出ノモノ	(E)	一般	(F)	記事	
							二十五聯裝	十三耗單裝	十三耗單裝	七・七耗																				
以五千總噸以上	以三千總噸以上	一	(七)	(五)	(五)	二〇	八	四	二	四	二	四	二	四	二	二	二	一	八	三	五	一	六五	(六七)	以五千總噸以上	以三千總噸以上	以一千總噸以上	未滿	一	
以三千總噸以上	以一千總噸以上	一	(七)	(五)	(五)	一〇	四	二	二	三	二	二	二	二	二	二	二	一	六	二	四	一	四六	(四八)	以三千總噸以上	以一千總噸以上	未滿	一		
以五千總噸以上	以三千總噸以上	一	(七)	(五)	(五)	一〇	八	二	二	三	二	三	二	二	二	二	二	一	六	二	五	一	五〇	(五二)	以五千總噸以上	以三千總噸以上	以一千總噸以上	未滿	一	
以三千總噸以上	以一千總噸以上	一	(七)	(五)	(五)	五	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	四	一	四	一	三四		以三千總噸以上	以一千總噸以上	未滿	一		
以一千總噸以上	未滿	一	(七)	(五)	(五)	五	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	四	一	一	一	二二		以一千總噸以上	未滿	一			
未滿	未滿	一	(七)	(五)	(五)	四	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	三	一	一	一	一一		未滿	未滿	一			

種別	任務区分	指揮官	高角砲員			機銃員		八種迫撃砲員	防空風員	爆雷員	水中聽音機員	探信儀員	電波探知器員	電波探信儀員	測距員	見張員	信號員	應急員	看護員	主計科員	計
			短二十種	短十二種	其ノ他	二十五耗聯裝	十三耗單裝														
油	五千總噸以上	一	(七)	(五)	(〇)	一〇	八							一	六	二	三	一	一	四八	(五〇)
精	三千總噸以上 (ヲ含テ)		(七)	(五)	(〇)	五	四							一	四	一	二	一		三三	(三四)
船	一千總噸以上 (ヲ除ク)			五	(〇)	五	(四)								四	一	一	一		二二	(一〇)
般	未滿						四		一						三		一			一一	
一	五千總噸以上	一	(七)	(五)	(〇)	一〇								一	六	二	三	一	一	四〇	(四二)
一	三千總噸以上 (ヲ含テ)		(七)	(五)	(〇)		八							一	四	一	二	一		三一	(三三)
一	一千總噸以上 (ヲ除ク)			五			四								四	一	一	一		二〇	
一	未滿						二		一						三		一			九	
記事																					

〇 船警戒隊員配乗標準

二、貨物船及貨客船

種別	任務	指 揮 官	高角砲員			機銃員			八 種 迫 撃 砲 員	防 空 風 員	爆 雷 員	水 中 聽 音 機 員	探 信 機 員	電 波 探 知 器 員	電 波 探 信 機 員	測 距 員	見 張 員	信 號 員	應 急 員	看 護 員	主 計 科 員	計	最前線進出ノモノ	一般
			短 二 十 種	短 十 二 種	其 ノ 他	二 十 五 耗 聯	二 十 五 耗 單 裝	二 十 五 耗 單 裝																
(六〇)		一	(七)	(〇五)	(〇五)	二〇			四		四	二	四	二	一	六	二	五	一	一	五八	(六〇)	以 五 千 總 噸 上	一
(三六)		一	(七)	(〇五)	(〇五)	五					二	四	二	四	一	四	一	四	一	一	三四	(三六)	以 三 千 總 噸 上 (ヲ含ム)	一
						五					二	二				四	一	二	一		二三		以 一 千 總 噸 上 (ヲ除ク)	
						五					二					三	一	一	一		一五		未 滿 一 千 總 噸	
(四四)		一	(七)	(〇五)	(〇五)	一〇					三	二	二	二	一	六	二	五	一	一	四二	(四四)	以 五 千 總 噸 上	一
(三五)			(七)	(〇五)	(〇五)	八					二	三	二	二	一	四	一	四	一		三三	(三五)	以 三 千 總 噸 上 (ヲ含ム)	
(一一)						(四)	(〇五)	五			二	二				四	一	二	一		三三	(一一)	以 一 千 總 噸 上 (ヲ除ク)	
											二					三					一一		未 滿 一 千 總 噸	
																							記 事	

(附錄第六)

軍務一機密第二一二號

昭和二十年三月二十七日

海軍省軍務局長

海軍省人事局長殿

海軍省教育局長殿

海軍艦政本部長殿

海軍運輸本部長殿

商船(徵備船、配當船、C船全部ヲ含ム)ノ兵裝標準

及警戒隊員配乘標準改正ニ關スル件申進

昭和十九年軍務一機密第一〇九一號ニ依ル首題ノ件左記ノ通改メラレ候條可然取計相成度

追而戰勢ノ變化ニ伴ヒ貨物船對空兵裝ノ急速強化ニ關シ特ニ配慮相成度

記

一、兵裝標準

(イ) 海軍徵備船(B配當船ヲ含ム)

(一) 油槽船

(E) 標準

但シ當分使用セラルモノハ一時兵器ヲ取外シ他ノ商船ニ流用スルコト

(二) 貨物船及貨客船

(E) 標準

但シ機銃ハ左ニ依ル

五千總噸以上	三千總噸以上	一千總噸以上	一千總噸未滿
二五八以上耗	二六五以上耗	二四五以上耗	二五耗 二三耗 二以上耗

(D) 船

油槽船、貨物船ヲ通ジ前項(二)ヲ適用

(C) 3D型貨物船ノ内護衛ヲ兼ネシムルモノノ標準ハ(イ)ノ(二)ニ依ルノ外左ヲ追加ス

- 高角砲 十二種以上 一 機銃 二五耗 四 爆雷 一〇
- 探信儀 一 電波探知機 一 電波探信儀 一
- 一式空三號隊内無線電話器 一

二、警戒隊配備標準

別表ニ依リ增加兵裝ニ對スル人員ヲ追加ス

(備考)

- 一、増加要員ニ對スル居住施設増備ノコト
- 二、(ハ)項ニ依ル3D型貨物船整備標準ヲ月十隻トス

軍司令部第一部長
海上護衛參謀長
寫送付先 船舶警戒部長

(終)

別表

各種兵器ニ對スル警戒隊員配乗標準

兵器名		警戒隊員	備考
高角砲員	短 20 種	7	本標準ハ一部船員ヲ協力セシムルコトヲ建前ト ナシアリ
	" 12 種	5	
	25 耗 聯 装	5	
機銃員	23 耗 單 装	2	
	13 耗	2	
8 種 迫 撃 砲 員	1		
水 中 聽 音 器 員	2		
探 信 儀 員	4		
電 波 探 知 器 員	2		
電 波 探 信 儀 員	5		
測 距 員	1		

(附 錄 終)

海運機察第三號

送付 票

國家船舶及港灣一元運管會實施要領

右送付候也

昭和二十年六月 日

元山在勤

海運總監部副官



領收 票

國家船舶及港灣一元運管會實施要領

右領收候也

昭和二十年 月 日

元山在勤

海運總監部副官

25
600
25
2000

25
600
25
2000

一部

宣極秘

昭和二十年五月九日

海軍大臣

- 各守府司令長官
- 大津守府司令長官
- 大津守府司令部官
- 大津守府司令部官
- 大津守府司令部官
- 支那方面艦隊司令長官

宛

特務艇、特設艇等ノ砲撃兵器類
準ノ件訓令

〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	五月二十三日	工務長
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	工務行スベシ	
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		

首題ノ件別紙ノ達定ム緊急ヲ要スル場合各守府各守備府、支那方面艦隊各司令長官ハ部下海軍
實備部在庫兵器等ヲ使用シ部下海軍工作艦ヲシテ左記條件ノ下ニ別紙標準以内ノ兵装工專ヲ施行
セシムルコトヲ得此ノ場合ハ裝備隱匿名、兵器名及数量ヲ速ニ報告スルモノトス

記

一緊急裝備ノ二十五耗機銃ハ一ヶ月左ノ数量ヲ超過スルコトヲ得ズ

吳 編

二〇挺

橋本佐四

各一六挺

編 編

八挺

各 營 各八挺

支那方面部隊 八挺

計 一〇〇挺

四月十四日官房陸軍部第一〇六六號訓令ニ依リ供給ノ十三耗機銃ハ主トシテ別紙標準ヲ充足ス

ルニ使用スルモノトス

一 二庫機銃一基ト單裝機銃二基トハ彼此融通スルコトヲ得又二十五耗機銃ニ代フルニ十三耗

機銃ヲ以テスルコトヲ得

二 別紙標準以上ニ兵器ヲ現有スル艦艇ハ過剩兵器ヲ撤去還納スルモノトス

三 裝備位置ハ適宜トス彈藥定數ハ從來ノ彈藥定數トスルヲ立前トス

六 裝備機銃一門ニ付一發機銃一挺ニ付五發ノ發射試驗ヲ施行スルヲ立前トス

七 費 目

臨時軍費 臨時軍費 造船遣兵及修理費 造修費(陸) (海)

別 紙 添

通達先 聯合艦隊司令長官

終

所要數	合計	他ノ其ノ他		特務艦										別種									
		其ノ他	特別	航海	潜水	魚雷	水雷	油船	油船	油船	魚雷	魚雷	魚雷		魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	
大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型	大型
噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数
4	4																						

特務艦雜役船砲艇兵裝機庫
昭和二十年五月現在
陸政本部

品名	数量	単位	備考	KOKIN		REI		MON		INDEX		備考
				数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	
高桑丸	308	丸										高桑丸
首里丸	3	丸										首里丸
長連丸	1	丸										長連丸
第一丸	1	丸										第一丸
千貫丸	13	丸										千貫丸
...
...

